２０１７年（平成２９年）１月３１日　火曜日

デーリー東北新聞　１２面　掲載

第72回国体 スケート・アイスホッケー 長野 ―第4日

第72回国体冬季大会「ながの銀嶺国体」のスケート、アイスホッケー競技会第４日は30日、長野県内で競技が行われた。青森県勢はアイスホッケーの準決勝で成年男子が東京に６―０と快勝。少年は栃木に延長の末、４―５と惜敗した。スピードスケートでは少年男子1500㍍の毛利信太郎（八戸西高）、成年女子同の澤尻磨里英（八学大）が、いずれも５位入賞。2000㍍リレーは少年男女が共に５～８位決定戦に回った。ショートトラック成年女子1000㍍の西山夢乃（神奈川大）は準々決勝で敗退した。最終日の31日も県内で競技を実施。アイスホッケー成年男子は２年ぶりの王座を懸け、北海道との決勝に臨む。少年男子は３位決定戦で宮城と対戦する。　（取材班）

【成年女子1500㍍決勝】５位入賞を果たした澤尻磨里英 ＝エムウエーブ

「反省点がいっぱい」

○…成年女子1500㍍決勝に臨んだ澤尻は5位。納得のいく滑りはできなかったようで「反省点がいっぱい。前に出ることを怖がってしまった」と悔しさをあらわにした。

スタート位置が外側だったのも影響し、序盤から出遅れた。「他の選手もうまくて、優位な位置取りをさせてもらえなかった」と澤尻。「他の選手の動きを気にし過ぎて、前に出る機会を逸した」と、指定されたポイントで先頭に立つルール「責任先頭」を果たせずにゴールした。

3000㍍でも決勝への出場を決めている。「次はもっと頭を使ったレースをして、（責任先頭の）ポイントを取るタイミングを考えたい」と雪辱を誓った。

【少年女子2000㍍リレー予選】青森の２走杉村真唯（右）からバトンを受け、スタートを切る３走根本明日香

名前呼びバトンパス

○…バトンパスの練習はレース直前の2回のみ。ほぼぶっつけ本番に近い状況で、八戸西高の加賀ひかり、杉村真唯、尾崎里以真、八学光星高の根本明日香が組んだ少年女子チームが2000㍍リレーに挑んだ。

工夫したのが声の掛け方。他チームの声とかぶらないよう、渡す時にそれぞれの名前を呼んでスタートを指示した。

無事にバトンを渡し、2組4位でB決勝（5～8位決定戦）へ。4人は「一番上の5位を取りたい」（加賀）「しっかり息を合わせたい」（杉村）「ミスせず上位に入りたい」（根本）「1走からトップを狙う」（尾崎）と意気込んでいた。

スピードスケート

＝決勝と青森県関係分

▽成年男子1500㍍決勝　①渡部知也（岩手・シリウス）1分47秒12＝大会新②池田（神奈川・専大）1分47秒49③土屋（長野・日本電産サンキョー）1分48秒16

▽同5000㍍予選「1組」⑧山本大生（山梨学院大）＝タイムなし、落選「3組」③根城将貴（信州大）6分44秒46＝決勝進出

▽同2000㍍リレー予選「3組」③青森（村山翔、村山幸、松尾、金浜）2分30秒80＝落選

▽少年男子1500㍍決勝　①堀川大地（北海道・白樺学園高）1分52秒03②久保（北海道・白樺学園高）1分53秒36③林（長野・佐久長聖高）⑤毛利信太郎（八戸西高）＝タイムなし

▽同5000㍍予選「1組」④毛利信太郎（八戸西高）6分45秒98＝決勝進出「2組」①根城知哉（八戸西高）6分44秒76＝決勝進出

▽同2000㍍リレー予選「1組」③青森（下舘、清川、平、赤坂）2分30秒85＝5～8位決定戦へ

▽成年女子1500㍍決勝　①阿部友香（群馬・JAつまごい村）2分0秒57＝大会新②樋（長野・日本電産サンキョー）2分6秒05③阿部（岩手・盛岡ヘアメイク専門学校職）⑤澤尻磨里英（八戸学院大）＝タイムなし

▽少年女子1500㍍決勝　①小竹琉湖（山形・山形中央高）2分0秒85＝大会新②小山（長野・長野東高）2分1秒05③酒井（北海道・白樺学園高）2分3秒13

▽同2000㍍リレー予選「2組」④青森（尾崎、杉村、根本、加賀）2分52秒44＝5～8位決定戦へ

デーリー東北新聞社提供